

必要な情報を収集し、共有することで、新たな考え方を見出そうとする児童



- ・前年度の学習で Google スライドを用いたまとめなどを経験し、自分の課題を設定して計画を立て、工夫して ICT 機器で表現する活動を行ってきた。
- ・考えをまとめる活動場面で、自分の考えを出せない児童が多い。

- ・これまで培ってきた ICT スキルを生かして、自分の考えを記入する「発表ノート」(SKYMENU Cloud)をつくり、自分の考えをもつことができるようにした。
- ・SKYMENU Cloud の「グループワーク」機能を使い、考えを伝え合う活動とまとめを作成する活動を同時に行えるようにした。

【SKYMENU Cloud】

- ・学習活動端末支援 Web システム
- ・プレゼンテーション作成、協働学習
(「グループワーク」機能)

【授業での活用】

- ・学習のまとめを「発表ノート」で表現した。
- ・「グループワーク」機能を用いて、互いのまとめを見比べながら「よりよいまとめ」を協働して作成した。

【ICT ツール使用内容】

時期	ツール	内容
4月	カメラ	撮影
	Google Classroom	資料の配布、課題の提出
	コラボノートOEX	授業用ワークシート
	SKYMENU Cloud	授業用ワークシート グループ学習機能
	Google フォーム	アンケート

教科:社会 単元名「水はどこから」 令和4年6月8日実践

- ・学習問題に対するまとめを「発表ノート」で表現する活動。
- ・あらかじめ授業者が「資料置き場」に画像素材を保存しておき、児童がまとめ作成時に活用できるようにした。
- ・「グループワーク」機能を使い、協働してまとめを作成する中で、よりよいまとめとは何かを一人一人が考えた。
- ・協働してまとめを作成する中で考えたことを基に自分のまとめを修正した。
- ・完成したまとめを当初のものと見比べることで協働学習による考えの深まりを実感させた。



【成果と課題】

- 「自己の課題をつかむ→取り組む→互いの考えを共有する→学んだ事を表現・発信する」という学習過程により、児童が多様な考えに触れて新たな価値を見いだすことができた。
- 話し合いを活発にし、児童への刺激を少なくするためにタブレットの数を意図的に制限するとよかった。